



## 鳥取市総合教育センターだより

第4号 令和5年12月15日発行

〒680-0053  
鳥取市寺町 150 番地  
TEL 0857-36-6060  
FAX 0857-26-3878  
E-mail  
kyo-center@city.tottori.lg.jp

### 教室に届き、子どもに届く

所長 中村 礼子

12月に実施した「講師研修」では、採用10年未満の若手教員による授業公開・実践をもとにした研修を行いました。授業を開き、参加者のニーズに合った研修づくりにご協力くださった倉田小学校、美保小学校、湖東中学校の先生方に心よりお礼申し上げます。



この研修では、養護助教諭・小学校・中学校のグループに分かれて、先輩の実践に学ぶとともに、グループワークで悩みについても話し合い、解決策が討議されました。参加者からは「同年代の先生の実践を知る機会をいただき、養護教諭ってすてきだな、と改めて思いました。」「多くの学びがありました。リーダー育成や問い返し、教室環境などぜひやってみたいことがたくさんありました。」「日頃の悩みについて、解決するためのヒントがたくさん見つかりました。」といった感想が多く寄せられました。また、研修講師としてご活躍くださった先生方からは「今回、自分が1年目に悩みながら実践してきたことについて改めて振り返る機会となり、さらに自分の考えが深まった。」「講師研修に備えて準備する中で改めて道徳について学び、自分にとってもよい勉強になった。」などの感想がありました。若手教員がこうして学び合う姿は大変頼もしいものでした。

また、「中堅教諭等資質向上研修」の学校訪問では、保育体験や地域貢献体験、指導助言体験の様子、校内での研修成果還元について伺いました。中堅教諭等資質向上研修の学びを、学年会やメインターチーム研修など校内OJTで計画的に活用されている学校が多くありました。研修成果を学校全体へ還元する積極的な取組に感謝申し上げます。

総合教育センターでは、校内OJTの推進のため異なるキャリアステージでの「コラボ研修」も実施しています。研修成果が各学校において協働推進者を得て有機的に還元されることにより、1つ1つの研修での学びが教室に届き、子どもに届いてこそ、と考えています。各学校の魅力ある学校づくりや授業づくり・学級づくりに生きるものとなるよう、来年度に向けてさらに研修にも磨きをかけていきたいと思っております。

鳥取市では、中堅教諭を学校の中核と位置付けて教職員研修を実施しています。鳥取市の中堅教諭等資質向上研修は、校外での集合研修、企画選択研修、授業実践、課題研究、実践発表、指導主事による学校訪問で構成されています。

今回は、学校訪問において聞き取りを行った企画選択研修「保育体験」「地域貢献体験」での様子についてお伝えします。



## 保育体験

この体験は、保育体験を通して、園児の実態や指導者のかかわり方から学び、今後の教育活動に生かすことを研修のねらいとして実施しています。

### 【体験の感想】

- 地域の保育園で年中組のお絵描き体験に参加しました。そこで保育士が、園児がそれぞれ描きたい思いを引き出しながらかみ細やかな支援をしておられる様子を見て、今後の自分の指導にも必要なポイントだと思いました。
- 園の掲示物を見て、これまでの園児が学んできた足跡だけでなく、園児が興味をひくような掲示の工夫が多くみられ、参考になりました。学校に帰ってから低学年の先生方と園での取組について情報共有する中で、今後自分たちの学校でもできることを考えていこうという意欲をもつことができました。



## 地域貢献体験

この体験は、地域での行事等の体験を通して、地域との連携や人との関わりの重要性を理解し、自校の教育活動に生かすことを研修のねらいとして実施しています。

### 【体験の感想】

- 学校に防災倉庫が設置されたことがきっかけとなって、地域の方と防災倉庫の整頓や備品確認を一緒に行いました。地域の防災組織について知ることができ、地域の防災に携わっておられる方の思いを知ること、校内の防災教育に向けた学びとなりました。
- 地域の方が集まる場で安来節の得意な方と出会い、話をしていく中で担当学年の児童との安来節体験活動につながりました。体験活動では子どもたちも大変喜んで一緒に踊りました。その後、公民館主催のお祭りにも参加することになり、最終的には地域の文化祭のステージに立ちました。子どもたちにとって自信につながったことはもちろんのこと、地域の方に学校の様子を伝えるよい機会にもなり、地域の方からも大変喜ばれました。



中堅教諭の先生方は体験活動を通して、保育の様子や地域の活動や思いに触れ、学校の外から自校や自身の取組について考えるきっかけになったようでした。研修企画係では今後も、中堅教諭が中核となり、体験での学びを学校の教育活動に生かしていくことを期待しています。

本市では「“ふるさとを思い 志をもつ人づくり”を進め、“夢と希望に満ちた次代”を“ひらく”！」の基本理念に則り、児童生徒を対象に4つの交流事業を実施しています。交流体験を通して、子どもたちが豊かな人間性や社会性を育むとともに、ふるさと鳥取の自然や文化のすばらしさや人の温かさにふれることにより、ふるさとのよさを実感してほしいと願っています。本年度実施した交流事業を紹介します。

### ■ 姉妹都市（姫路市・鳥取市）中学生交歓会

昭和47年に第1回交歓会が鳥取市賀露町で開催され、今年で52回目を数える歴史ある交流事業です。各中学校の代表生徒17名が参加しましたが、今回の交歓会は「新たな伝統・文化の創造」をテーマに掲げ、両市の伝統や産業、食文化を組み合わせる新たな商品の提案や姉妹都市交流イベントの企画、給食献立作りを双方が考え、オンラインで意見交流しました。

2月22日(木)に姫鳥姉妹都市交流  
献立として登場します！お楽しみに！



▲鳥取市団が考案した「姫鳥メニュー」

### ■ 姉妹都市（郡山市・鳥取市）小学生交歓会



平成21年に第1回の交歓会が郡山市で行われ、以降両市の代表児童が隔年で互いの町を訪れ交流を深めました。平成23年は震災の影響もあり訪問は見送られましたが、鳥取市全小学校が郡山市全小学校に応援メッセージを記したパネルを贈りました。現在はオンライン形式へと形を変えて交流しており、今年は美保南小、鹿野学園、江山学園の児童が郡山市の児童と交流しました。

### ■ 中山間地域ふるさと体験活動

13小学校の4年生または5年生児童が、佐治町での農村暮らしを体験しました。宿泊体験学習や文化・伝統にふれる体験活動を通して、豊かな自然の大切さや、ふるさとの文化や伝統を守る地域の方の思いにふれることができました。また、集団生活を通して自立することや協力し合うことの大切さを学び、さらに感謝の気持ちをもつことができました。



### ■ 地域で学ぶ職場体験活動（ワクワクとっとり）



地域や学校の実態に応じて、地域での職場体験活動や企業訪問活動など各校が工夫し取り組みました。活動を通して、自分の将来に夢や希望を抱き、その実現を目指そうとする心を育むことができました。また事後のアンケートによると体験先や家庭での会話の中で励ましや労いの言葉かけがあり、活動を通して望ましい勤労観や職業観を身に付けるだけでなく、生徒の自己有用感を高めるきっかけとなっています。